

<<米国 FDA による リコール情報（2025 年 12 月分）>>

2025 年 12 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出された、食品、飲料、栄養補助食品のリコール情報は 28 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
アレルギー表示漏れ	16 件
有害病原菌の検出（サルモネラ 2 件、リステリア 2 件）	4 件
鉛汚染（調理器具、シナモンパウダー）	2 件
異物混入（プラスチック、小石）	2 件
保管過程におけるげっ歯類や鳥類による汚染、および不衛生な状態	1 件
FDA の規制基準値を超えるアフラトキシン（毒性の強いカビ毒）が含まれている家畜用飼料	1 件
セシウム 137（Cs-137）汚染の可能性のあるインドネシアからのエビ	1 件
医薬品原材料（シルデナフィルとタダラフィル）を含む栄養補助食品	1 件

これらの 28 件のリコール情報のうち、ラベル表示におけるアレルギーの記載がなかったものが 16 件、有害病原菌汚染（サルモネラ菌、リステリア菌）によるものが 4 件であり、これら 2 つがリコール理由の 7 割以上を占めた。「企業名（Company Name）」をもとに確認したところ、日本企業や日系企業にかかるとみられるリコール案件は確認されなかった。

<アレルギー表示漏れ>

米国に食品を輸出する際、アレルギー物質を使用している場合、その原材料名を明確に表示しなければならない。アレルギー表示が義務付けられている 9 種の食品は、原材料リストに記載するだけでなく「CONTAINS：〇〇」とアレルギー物質を表示する必要がある。表示が義務付けられているアレルギー物質は、乳、卵、魚（ヒラメ、タラなど）、甲殻類（カニ、ロブスター、エビなど）、ナッツ（アーモンド、クルミなど（注）、ピーナッツ（注2）、小麦、大豆、およびゴマの合計 9 種類である。魚、甲殻類、ナッツについては、その種も明記する必要がある。

（注）2025 年 1 月、FDA は、[「業界向けガイダンス：食品アレルギー表示に関する質問と回答\(第 5 版\)」](#)を発行しており、食品アレルギー表示が必要な木の実のリストを従来の 23 種類から、12 種類に

減らした。今後も継続して食品アレルギー表示が必要となっている 12 種類の木の実のリストは以下の通り。

アーモンド、黒クルミ、クルミ（日本語名は西洋グルミ、またはペルシャグルミ）、ブラジルナッツ、カリフォルニアクルミ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、ハートナッツ（日本クルミ）、マカダミアナッツ、ピーカンナッツ、松の実（パインナッツ）、ピスタチオ（注2）ピーナッツは引き続き主要アレルギーの一つでアレルギー表示が必要である。ピーナッツの分類は「木の实」ではなく、「豆類」であるため、12 種類の木の実のリストには含まれない。

<FDA の許容基準値を超えるアフラトキシンが含まれている家畜用飼料>

未成熟動物、野生動物、馬、小型反芻（はんすう）動物、乳牛に対する FDA の規制基準を超えるアフラトキシン（毒性の強いカビ毒）が含まれている可能性がある家畜用飼料がリコールされた。高濃度のアフラトキシンに曝露された家畜は、体重減少、体重増加の抑制、摂食量の減少、乳量または卵生産量の減少、嘔吐、下痢、腹痛、免疫抑制、血液凝固障害、肝臓障害、黄疸、癌性腫瘍など、様々な健康被害のリスクがある。また乳牛は、飼料中のアフラトキシンを代謝して乳に移行させる可能性がある。

なお今回のリコールは、テキサス州化学局によるサンプリング検査の結果、製品サンプルから 35 ppb のアフラトキシンが検出されたことを受けて実施されたものである。

<保管過程におけるげっ歯類や鳥類による汚染、および不衛生な状態>

医療機器、医薬品、食品、ペットフード、化粧品が保管されている場所に、げっ歯類の糞便、尿、鳥の糞が確認されたことから、食品等様々な製品がリコールされた。汚染された製品の摂取や接触は、消費者に深刻な健康リスクをもたらす可能性がある。

FDA は [SmartHub](#) を提供しており、そのウェブサイトを通して、容易に、FDA が規制するヒト用または動物用製品に関する問題（製品の品質または安全性における欠陥、表示の問題など）、健康被害（製品に関連する傷害、疾病、死亡など）、または施設に関する問題（内部告発や施設査察によって発覚した衛生問題など）、を FDA 担当部に報告することができる。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：
米国輸出支援プラットフォーム（ジェトロロサンゼルス事務所）
TEL：1-213-624-8855
Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成